

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-10-07
事務事業名	漁業集落排水施設管理運営事業	根拠法令・要綱等	浄化槽法 水質汚濁防止法
事業開始年度	昭和57年～	問合せ先	担当課(室) 下水道施設係
総合計画 大項目	基本目標 安全で快適に暮らせるまちづくり	職・氏名	施設係長 福田昌晃
中項目	基本施策 生活しやすいまちづくり	電話	0869-63-2330
小項目	施策 下水道		

事業の実施 対象 (誰・何に対して)	日生町頭島、大多府島地区で生活する市民及び不特定多数
目的 (何のために)	漁村集落の生活環境の改善をはかり、併せて公共用水域の水質保全に資する。
行政活動 (どのような方法で)	漁業集落排水施設2カ所及び管渠、マンホールポンプ設備の維持管理。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	排水施設の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保ち、漁場の汚染防止に寄与する。

事業の目的、対象、内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	処理水量	m3	69,890	75,315	65,357
	水洗化率	%	100	100	100
	接続人口	人	698	674	656
	接続戸数	戸	331	332	333
事業費	直接事業費	千円	20,649	19,658	21,817
	人件費		2,255	3,058	1,263
	事業費計		22,904	22,716	23,080
財源	国・県・市支出金	千円			
	受益者負担				
	一般財源		22,904	22,716	23,080
	必要人員	人	0.25	0.35	0.13
結果指標					
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
結果指標	処理水量	説明	処理場で処理した汚水量		
	結果指標量	m3	69,890	75,315	65,357
	対前年比	%	-	107.8%	86.8%
	活動コスト	円	22,903,724	22,742,943	23,080,203
単位当たりコスト	円	328	302	353	
結果指標	接続人口	説明	処理場を利用している人数		
	結果指標量	人	698	674	656
	対前年比	%	-	96.6%	97.3%
	活動コスト	円	22,903,724	22,742,943	23,080,203
単位当たりコスト	円	32,813	33,743	35,183	

事業の成果			
成果指標名	BOD値	式又は説明	生物化学的酸素要求量：水中の有機物が微生物の働きによって分解される時に消費される酸素量。大きい値ほど汚れが甚だしい事を示す。
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	4.00	5.00	11.00
対前年比		125.00%	220.00%
到達目標値	10mg/l	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	浄化槽法、水質汚濁防止法等の規定に基づき、公共用水域の水質保全及び漁村生活環境の保全を図るため、汚水処理施設の管理を行う。
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	活動コストは、ほぼ一定しているが、施設の老朽化による設備の故障等に対する修繕費用の増加に加え、過疎化の進行により接続人口、処理水量が減少し、単位当たりのコストが上昇した。
有効性の評価	手続	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	目的達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	施設の機能はおおむね発揮されているが、老朽化による故障発生のため、処理に支障をきたす状況もあった。

平成20年度の状況		説明	施設の維持管理は前年と同様に行っている。	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了			
目標値	結果指標量	70,000 m3	結果指標量	660
	成果指標量	BOD 10mg/l		

総合評価	評価区分 <A~E>	
施設の老朽化の進行により修繕費は増加傾向にあるが、処理は概ね良好に行われており、引き続き処理機能を十分発揮できるよう計画的に効率的な改修を行う必要がある。		

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	老朽化している施設の効率的な改修更新の検討、不排水対策の検討。	H21~	処理の効率性が上がり、処理コストの縮減と処理水質の向上が期待される。